

大豊町の概要	
位置	東経 133度37分 北緯 33度56分
面積	320.54平方町 東西 32町
	南北 28町 部落数 88
人口	12,697 男 6,090 女 6,607
世帯数	3,721 (3月末現在住民基本台帳調)



昭和47年4月25日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会

発行 大豊町中央公民館

印刷 高知印刷株式会社

のびゆく郷土

大豊町4月
1日新発足

町制施行記念式典受賞者



祝大豊町制施行記念式典

町制施行にあたりご挨拶
申し上げます。
昭和三十三年三月三十一日
を期して四ヶ村が合併し、大豊町が誕生して以来、
初代町長三谷泉先生並びに
二代目町長西岡治郎先生
を中心として、和衷協力融合一
体」を村是として、議会、
町民等が、町制施行に邁進
のこころを寄せてまいりました。
この間、関係機関の暖かい指導と
強力なご支援により、文字
通り大きく豊かな村づくり
を推進することができました。
町制施行にあたり皆様方
のこれまでに寄せられまし
たご尽力に對しまして、深甚
の敬意と感謝の念を表わす
ものであります。大豊町の
発足当時は村内産業構造が
第一次産業を主体とした純
農村の形態がみられ、そ
の中心に「和衷協力融合一
体」を村是として、議会、
町民等が、町制施行に邁進
のこころを寄せてまいりました。
この間、関係機関の暖かい指導と
強力なご支援により、文字
通り大きく豊かな村づくり
を推進することができました。



門田町長のあいさつ

町の性格を具備 農工商業 の進展と 生活環境の整備を

明治以来の歴史的な伝統ある「村」の名称に終
止符をうつて、いよいよ四月一日から「大豊町」
が「大豊町」として新しく発足いたしました。
町制施行のこの日、国県隣接町村等から多数の
来賓を迎えて盛大な記念式典が役場四階の議場で
行なわれ、門田町長、寺石議長から挨拶があつて

新しい町づくりに對する決意がのべられました。
この記念すべき式典にあたり地方自治功勞者を
はじめ、社会奉仕に貢獻された団体、村の発展に
献身的に尽くされた方々等に対し表彰並びに感謝
状が門田町長から贈呈せられ、町制施行の歴史的
な一頁がおこそかに開かれました。

町民等が、町制施行に邁進のこころを寄せてまいりました。この間、関係機関の暖かい指導と強力なご支援により、文字通り大きく豊かな村づくりを推進することができました。
町制施行にあたり皆様方のこれまでに寄せられまして、深甚の敬意と感謝の念を表わすものであります。大豊町の発足当時は村内産業構造が第一次産業を主体とした純農村の形態がみられ、その中心に「和衷協力融合一体」を村是として、議会、町民等が、町制施行に邁進のこころを寄せてまいりました。この間、関係機関の暖かい指導と強力なご支援により、文字通り大きく豊かな村づくりを推進することができました。



宮々として町の発展につくされた方々が今表彰台に立つ
謹厳にして実直、その表情に誠実さがみなぎっている。

かかる村内情勢を背景として「村」という名称から受ける後進性の強いイメージ

山形形勢から、次第に今日の近郊衛生都市的形態がみられて参ると同時に住民の多くは「村」から「町」への昇格によって、都市的な住民社会施設の充実を望む要請が高まつて参りました。
かかる村内情勢を背景として「村」という名称から受ける後進性の強いイメージ



理想的な町造りを 議会議長 寺石 由雄

町制施行にあたりご挨拶
申し上げます。
大豊町は昭和三十三年三月三十一日、町村合併促進法により天坪、大杉、西豊永、東豊永の四ヶ村が合併し、大豊町として人口二万三千五百四十二人、面積三百五十七平方町、村内に国鉄駅七つを有する全国有数の大

村として発足をみたのであり、
雨来、和衷協力融合一
体の村造りと健全財政を目指
して鋭意努力を続けて参つ
たのであります。その間、
部外地区の分村、地方財
政再建促進特別措置法の適
用を受ける等、まさにいば
らの道ではありましたが、
各方面の深いご理解と初代
三谷町長、また西岡前村
長殿の手腕により本町の行
政能力は飛躍的發展を遂
げたのであります。

十分認識しながら、次第に
少壮精鋭化する農林業従事
者に對しましては、農林業
構造改善事業を中心とし
て国県の施策と相まった強
力な農林業施策を推進致し
と共に、農業振興地域整備
計画に基づき、合理的かつ
近代化的な農用地利用並び
に農業施設整備等を推進致
し、農産物の格差是正に努
めて参りたいと思ひます。
また産業構造が町として
の形態をとりつつある現実
を注視し、基礎振興におけ
る諸文化施設の充実を図る
ため総合体育施設の建設、
住民の総合利用施設として
の町民センター建設、商工
業振興の一環として商工
センターの設置並びに建
設を行なうと共に、山間軽
工業用地の確保等をも配慮
しつつ中小企業を中心とし
る商工業のさらなる進展を
期して参る所存であります。
また「有線電話施設の目
動化」「生活道路網の整備」
により交通通信網の充実を
図り、野外活動を中心とし
た「観光施設の充実」並び
に福祉対策を重点とする生
活環境の整備等を図ること
ゆきたいと考えておりま
す。町民の皆様のなごり
所のご指導ご支援を賜わり
ますようお願い致します。

がれた事件については
幾多の変遷はありましたが
の、三谷町長をはじめ
手方峰川氏の深い理解に
よって和衷が成立したので
あります。これは今日を
築いた大豊の財政に大きな
役割をもちましたことと見
のがすことはできません。
こうして今日まで基盤整
備を重点として幹線道路で
施行のご挨拶と致します。

しあわせを
わかっ心で町づくり

受賞者の顔ぶれ

- 表彰の部
(順序不同)
敬称略
故小笠原清浩
(多年村議会議員の職にあり議長、副議長を歴任し行政進展に貢献) 吉川永晴
(多年村議会議員として行政進展向上に尽力) 竹村国太郎
(多年村議会議員及び遺族会長等を歴任し地方自治の発展に貢献) 小笠原賢一
(多年教育委員、同委員長を歴任、教育行政の進展に貢献) 西岡憲一
(多年民生委員として社会福祉の向上に努力) 丸山誠志、藤原光子、門田眞世、豊永栄美、松高茂子
(家庭に精励ねたり老人等の看護に専念し、健全明朗な家庭を築く) 重森肇
(長期にわたり地域の産業として母子健康管理に努力) 三谷順子
(母子家庭にあつて母を助け家庭にいたる子育てに精励) 吉川喜美
(吉川文化学園を開設し、その後家政高等学校長として婦人教育に尽力) 尾立良夫
(東豊永、豊永、大豊中学校長を歴任し特に統合校大豊中の学校運営に尽力教育の向上に貢献) 高橋俊郎
(多年体育指導委員として社会体育の発展に尽力) 宮内勇、豊永明男、今井安博
(大豊地区4ヶクラブの中堅として活躍し、農業振興に努力) 大田昌通
(冷涼野菜を主とした農業経営に努力) 山中梅香、渡辺成甲、北澤博美
(畜産を主とした農業経営に努力) 原久吉
(養蚕を主とした農業経営に努力) 江間萬寿樹
(花木を主とした農業経営に努力) 小川力男
(稲作を主とした農業経営に努力) 寛基
(多年駐在保健婦として衛生思想の普及等に尽力) 小笠原勇吉
(部以下二面へ)

新町発足に当って

昔の恩師への謝
ました。集まっ
外で活躍する分
千数名。
興じた小川のせ
で懇親会、夜のふけるま
昔なつかしい思い出話に花
を咲かせていたようです。
（写真は恩師をかこんで
校舎で乾杯）

